

発行日：2015年9月1日

広報

環境カウンセラーちば

第47号

特定非営利活動法人
環境カウンセラー
千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。
地球温暖化対策、廃棄物対策、環境教育・環境学習、環境経営など、お気軽にご相談下さい。

【巻頭言】

平成27年度の活動について

理事長 見並 勝佳

5月の総会から今年度は既に3か月が過ぎました。広報発行は遅れましたが、改めて平成27年度の活動を考えてみます。組織運営面では、「会員数の漸減」、「高齢化」と「財政」の三課題があります。しかし、総会の席でも申し上げたとおり、「外部に開かれた活発な活動を楽しく行う」をスローガンにしています。そのことが当協議会活性化の自発的な力になると考えています。財政面では、前年度はかろうじて黒字とすることができました。会員の皆様の多面的なご協力の賜物と感謝します。どの程度の財政基盤が必要であるかは意見が分かれることと思いますが、無収入でも2年間の事業活動が行える程度の財政基盤があれば望ましいのですが、そこまでは困難でしょう。とりあえず現状の300万円確保を目指します。

「外部に開かれた楽しい」を達成するために、会員以外の方も参加できる自然観察会、各種見学会や講演会等の開催、さらに会員の皆さんが地元で行っている行事への会としての参加回数の増加を図りたいと考えます。会員以外の方が参加できる仕組みでは、水環境対策センターが8月4日に実施した野田市地元団体と協働での浄化槽講習会とキッコーマン工場見学の複合開催は一つのモデルになると考えます。昨年実施し、好評であった富士山シリーズ第2弾の自然観察会もぜひ成功させたいと思っています。

その他の外部団体との協働も取り組みができるものから行っていきます。「エコメッセ in ちば」では、今年も緑のカーテン種子の配布を行いますし、それ以外での可能性も模索中です。

ホームページを大幅改訂し、会の活動内容を会員に早く伝えるようにしました。また、相互の情報発信ツールとして、会員の投稿欄を試験的に実施しています。

画像と記事が投稿可能ですので、皆様の活発な参画をお願い致します。

当協議会の最大の事業であるEMS支援センター活動においては、よりきめ細やかな顧客企業への情報提供と広報活動を行って、低迷傾向に歯止めをと考えています。もう一つの事業としての「エコ検定試験受験対策講座」については、今年度も事業化へのトライを継続しており、この広報が発行される頃には、下期の受講者募集をはじめていると思います。

最期になりますが、今年度の活動で非常に重要なことがあります。それは、環境カウンセラー登録制度の在り方の課題です。2010年(H22)の「事業仕分け」から始まった環境カウンセラー制度の見直し検討の報告書が本年3月に(公財)日本環境協会からH26年度報告として公表されています。この検討は、環境省が日本環境協会に事務局を委託したものです。検討委員会には、ECU佐々木理事長はじめ2名の環境カウンセラーが委員として参加しています。

その骨子は、環境カウンセラー登録制度改革案のポイントとして、(1)国の登録制度を維持する、(2)中央集約から地方分散を図る、(3)民間団体との連携と受益者負担、を挙げています。それに基づき、2019(H31)年度を目途としたロードマップが示されています。

ここで、この内容を議論する紙幅はありませんし、理事会でも本件に関する議論はまだ行っていないのが現状です。しかし、大きな方向性は示されたとの認識をしています。今後の具体的な行動としては、9月以降にまず理事会で認識共有と議論が必要と考えます。可能な限り、HPやメールで情報提供と皆様の討論へ参加機会を作ります。

第13回通常総会を開催

第13回通常総会を平成27年5月17日(日)に千葉市市民会館特別会議室において開催しました。

会員総数112名に対し、105名の出席(うち、委任状提出55名)があり、毎年のことながら会員の皆様のご協力に深く感謝いたします。

議長に見並勝佳理事長を選任し、次いで見並議長の下で書記に茂利晃氏、吉田昌弘氏を、議事録署名人に戸村泰氏、宮田勉氏を選任し、次の議案を審議しました。

- (1) 第1号議案「平成26年度事業報告ならびに決算報告」
- (2) 第2号議案「平成26年度監査報告」
- (3) 第3号議案「平成27年度事業計画案ならびに予算案」
- (4) 第4号議案「役員改選」

第1号および第3号議案については見並理事長と服部達雄事務局長が説明し、第2号議案に関しては、林正徳監事から「事業の遂行および財産の状況は公正かつ妥当であることを認めた。」との報告をいただいた。

第1～3号の各議案とも質疑はなく、いずれも賛成多数で承認されました。

次に、第4号議案に関し、議長が現役員の任期が平成27年5月31日で満了することから定款第14条に基づき新たな理事、監事の選任を行う旨の議案説明を行い、選任方法を諮ったところ議長一任の提案が過半数の賛同を得たので、議長が新たな理事、監事の候補を提案し、賛成挙手多数で承認されました。

(理事) 上口清彦、國廣隆紀、種本利治、辻川毅、橋本正、服部達雄、見並勝佳、宮田勉、茂利晃、吉田昌弘
(以上10名が重任)、佐藤ミヤ子、志澤達司、田博秋、渡辺忠明(以上4名が新任)

(監事) 有馬富穂、戸村泰(以上2名、新任)

以上で議事は終了し、総会は閉会となりました。

この役員改選を受けて、6月1日に臨時理事会を開催し、定款第14条に基づき理事長および副理事長を選任し、さらに運営細則に定められた役職を決定しました。
(次ページ参照)

なお、今総会をもって、北落謙太郎氏、鈴木優子氏、戸村泰氏が理事を、吉海照直氏、林正徳氏が監事を退任されました。長年にわたり本協議会の運営・発展にご尽力された各氏の労苦に深謝いたします。

<平成26年度事業の概要>

(1) 環境保全推進事業として、「環境セミナー」、「施設見学会」、「秋季研修会」、「環境公開講座」、「自然観察会」を開催し、会員の研修機会とした。なお、環境公開講座、自然観察会には一般市民の参加があり、EC千葉

の活動の一端に触れていただくことができた。

(2) 環境保全啓発事業においては、「エコメッセ2014 in ちば」に参加し、二酸化炭素の測定実演とゴーヤなどの緑のカーテン用種子の配布によって地球温暖化問題の啓発を行った。この他にもいくつかの環境イベントに出展し、当協議会の活動を紹介した。

(3) 講師派遣事業における特筆は、環境大臣および文部科学大臣から環境教育等促進法第10条の「環境教育等支援団体」として指定されたことである。今後、この指定を当協議会の活動の拡大に生かすと同時に指定団体に恥じない活動をしてゆくことが肝要である。さらに、「エコ検定受験対策講座」を立ち上げた。新しい事業として定着することを期待している。

(4) 行政機関、事業者などに対する事業としては、EA21地域事務局千葉県環境財団と連携し、「エコアクション21普及セミナー」を中心としてエコアクション21の普及拡大に努めた。また、「企業環境セミナー」、「内部監査員養成講座」を開催し、中小企業の環境経営の支援に取り組んだ。

(5) 環境問題やまちづくりに関する諸調査、政策の提案に関する事業においては、県が主催する浄化槽啓発講習会へ講師を派遣し、協力した。この他、廃棄物対策活動、地球温暖化対策活動、生物多様性に関する研究活動、それぞれにおいて具体的取組を実行した。

(6) その他の事業として、広報「環境カウンセラーちば」の発行(2回)、ホームページのアップデートを継続し、環境カウンセラー全国連合会(ECU)への協力関係を従来どおり進めた。なお、ECU理事長表彰(功労賞)が、荒野哲也氏と本間格氏にECU総会(平成26年6月27日開催)において授与された。

平成27年度事業計画は26年度からの活動の継続が中心ですが、これらの事業を推進する上での基本は会員の皆様の積極的な活動参加であります。多くの会員の豊富な知見・経験を生かして、着実に成果を出してゆけるよう皆様の協力をお願いします。

なお、平成26年度収支実績、平成27年度収支予算は次のとおりです。平成26年度はかろうじて収支プラスとなっていますが、今後の状況は決して楽観はできません。事業収入を増やす努力が求められています。

	収入(千円)	支出(千円)
平成26年度実績	2,565	2,475
平成27年度予算	3,214	3,192

(事務局長 服部 達雄)

特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会

〔任期：平成27年6月1日～平成29年5月31日〕

役 員

理事(14名)

上口 清彦	國廣 隆紀	佐藤 ミヤ子	志澤 達司	種本 利治	辻川 毅
田 博秋	橋本 正	服部 達雄	見並 勝佳	宮田 勉	茂利 晃
吉田 昌弘	渡辺 忠明				

監事(2名)

有馬 富穂	戸村 泰
-------	------

役 職

理事長	見並 勝佳	副理事長	上口 清彦
事務局長	服部 達雄	廃棄物対策センター長	宮田 勉
総務部長(兼、会計担当)	橋本 正	副センター長	船橋 孝之
事業部長	橋本 正	副センター長	潟端 尊史
副部長	茂利 晃	環境学習センター長	吉田 昌弘
広報部長	服部 達雄	副センター長	渡辺 忠明
情報部長	服部 達雄	副センター長	志澤 達司
EMS支援センター長	宮田 勉	副センター長	佐藤 ミヤ子
副センター長	種本 利治	水環境対策センター長	上口 清彦
副センター長	田 博秋	副センター長	久保田 隆
副センター長	服部 達雄	副センター長	櫻井 哲
地球温暖化対策センター長	橋本 正	生物多様性研究会長	見並 勝佳
副センター長	辻川 毅	副研究会長	渡辺 忠明
副センター長	山本 忠	ECU担当	國廣 隆紀
		EA21地域事務局担当	服部 達雄
顧問	小角 浩	アドバイザー	大山 長七郎
顧問	有馬 富穂	アドバイザー	小関 光二
顧問	土田 茂通	アドバイザー	本間 格
顧問	荒野 喆也	アドバイザー	倉田 智子
顧問	廣川 一男	アドバイザー	佐藤 素子
顧問	古畑 義正	アドバイザー	西田 啓作
顧問	吉海 照直	アドバイザー	野口 久
顧問	林 正徳	アドバイザー	山口 由富子
顧問	鈴木 優子	アドバイザー	吉野 定治
顧問	青木 誠		

◆環境カウンセラー千葉県協議会

設 立：平成10年2月8日

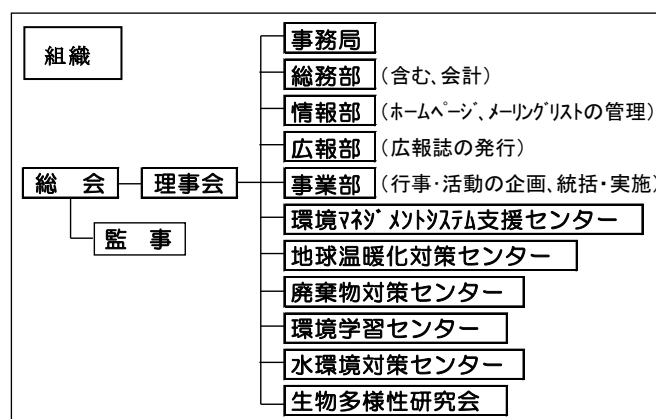
(平成15年7月28日特定非営利活動法人)

理 事 長：見並 勝佳

事 務 局 長：服部 達雄

会 員 数：109名(平成27年9月1日現在)

平成26年9月、環境省・文部科学省から
「環境教育等支援団体」として指定された。



第13回通常総会 特別講演 < 第25回環境セミナー >

地球化学的手法による火山噴火予知の可能性

東京工業大学火山流体研究センター野上健治教授

最近、国内外各地で火山活動が活性化しているので、通常総会の特別講演を東京工業大学火山流体研究センター野上健治教授にお願いし、火山噴火予知について講演していただいた。

野上先生は、草津白根火山のホームドクターとしての活動のほか、火山噴火予知連絡会委員として、西之島などの観測活動に参加されている。

米国イエローストーン国立公園の地下にある巨大マグマが本格的に活動すると、一気に氷河期が到来するほどの影響を地球環境に与えるとも言われる火山噴火であるが、今回は、もっと頻度が高く、被害の出やすい水蒸気爆発の予知を中心に講演していただいた。

〔講演概要〕

地震と火山噴火はよく関連付けられて話題となるが、

- ・地震活動は、断層運動による瞬間的なエネルギーの放出現象であり、
- ・火山活動は、持続的なエネルギーと物質の放出現象であり、

地震活動と火山活動とは本質的に異なる現象である。

火山噴火のタイプには、「マグマ噴火」と「水蒸気爆発」がある。マグマ噴火は、前兆現象は多様であるが顕著で事前に検知できる。

これに対し、水蒸気爆発は、前兆現象が限られ、微弱である。水蒸気爆発を起こす火山は、観光地化して人が集まる火山が多い。

1979年の木曾御嶽山の噴火を契機に、活火山・休火山・死火山という分類がなくなり、今は“活火山”のみとなった。わが国には110の活火山がある。

火山活動が変化したということ捉えるために重要なのは、

- ・地球物理学的観測：地震、地盤変動、全磁力…
 - ・地質学的観測：噴出物、地質調査、マグマの組成…
 - ・地球化学的観測：火山ガス、温泉水、噴出物…
- などの静穏期のデータで、したがって、火山活動の観測研究には物質科学的観測研究は不可欠である。

この中で、火山ガス (H_2O , HF , HCl , SO_2 , H_2S , CO_2 , H_2 , N_2) の温度による化学組成の変化に着目して水蒸気爆発を予知する取り組みが1960年から草津白根火山で行われている。

草津白根山は、最近150年の中で、1882年、1897年、

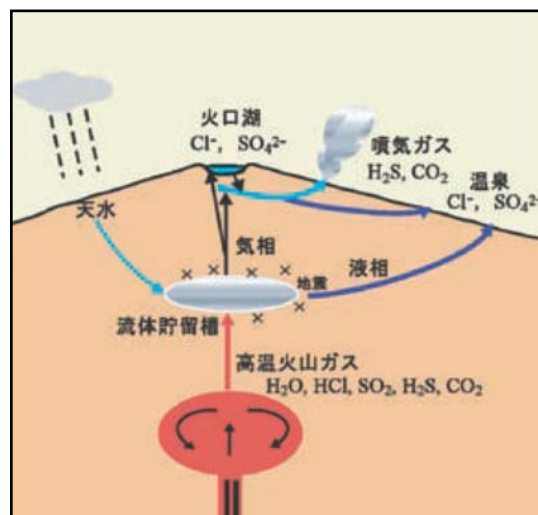


1902年、1925年、1932年、1942年、1976年、1982～1983年に噴火を起しているが、1960年からの観測研究により、1976年3月2日の湯釜噴火では、火山ガスの観測によって、世界で初めて水蒸気爆発の噴火予知に成功した。

この取り組みには、地元自治体、事業者との連携が大切で、草津白根の火山活動は最近も活発化しており、2014年6月に噴火警戒レベルを1から2に引き上げられたが、草津白根温泉では風評被害を受けていない。



1982年12月 草津白根山湯釜噴火



草津白根山の熱水系概念図

わが国には 110 の活火山があるが、このうち、常時観測が必要な火山は、火山噴火予知連絡会により、47 火山+3 火山（八甲田山，十和田，弥陀ヶ原（立山））となっている。

しかし、文科省が 2008 年に 34 あった重点観測火山を 16 に絞った経緯もあり、ホームドクターといえる研究者は、大幅に不足している。今後は、行政だけでなく、産業界にも噴火予知の必要性を認知してもらい、観測の質も量も向上させたいと野上先生ら現場の研究者は願っている。

〔講演を受けて〕

桜島の噴火警戒レベルが 4 になる中で、始良カルデラの巨大噴火の可能性を口にする人もいるが、そのような場合は、事前にマグマの成分が変化することを含めて、顕著な予兆現象が想定される。水蒸気爆発は、桁違いに規模は小さいが、周辺住民の安全が脅かされるだけでなく、社会環境に各種影響を与える。観測活動の充実の必要性を感じた講演であった。

（宮田 勉）

〔用語の説明〕

マグマ：地下で岩石が高温で融けているもの。

溶岩：マグマが地表に噴出したもの。

噴火：火口から火山灰等の固形物や溶岩を火口の外や周辺に放出・流出する現象。多種多様な形態をとる。

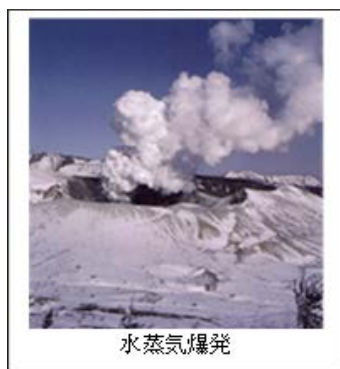
爆発：火口やマグマが上昇する通り道周辺の岩盤も一緒に吹き飛ばす現象。

マグマ噴火：マグマ（溶岩）を放出する噴火で、溶岩がただ流れるだけでなく。火砕流を伴ったり、多様な形態をとる。（写真は桜島）

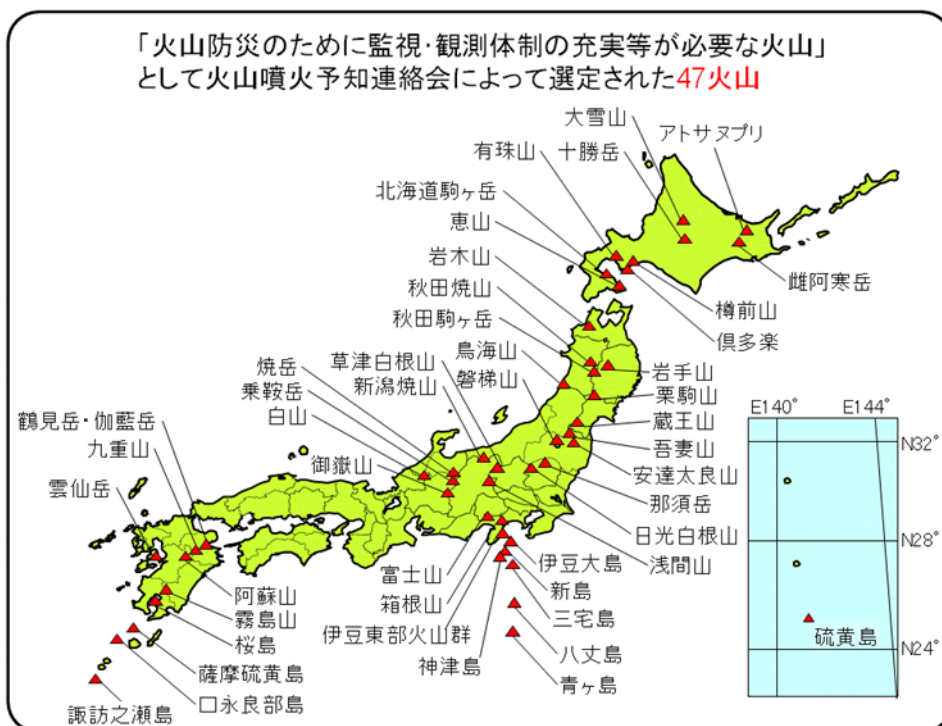
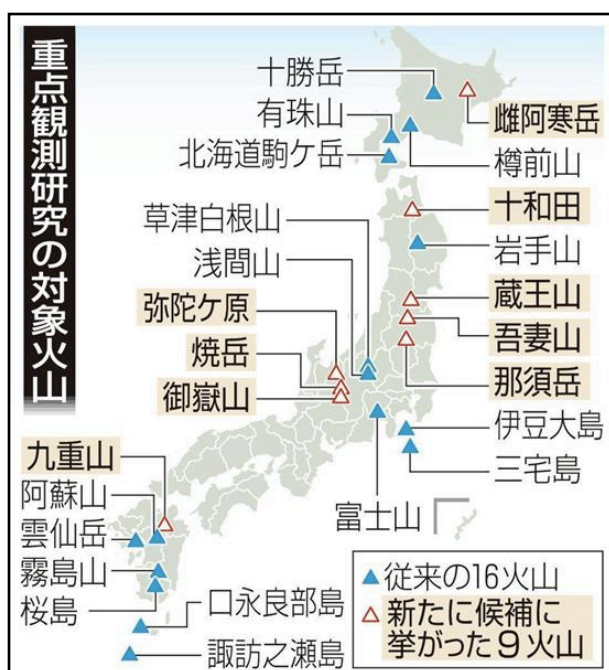
水蒸気爆発：熱せられた地下水等が気化し、水蒸気となってたまり、爆発する現象。（写真は草津白根）



マグマ噴火



水蒸気爆発



〔写真・図は講演要旨と配布資料から転写〕

浄化槽の適正管理への取り組み —千葉県で行う「浄化槽講習会」への協力—

浄化槽とは、し尿と雑排水を併せて処理し、公共水域に放流するための設備・施設であり、河川、湖沼、海域等の公共水域の水質汚濁の防止に大きく寄与するものとされています。

かつては、公共下水道が導入されるまでの間、便所を水洗化するための「暫定施設」と認識されがちでしたが、近年では、比較的安価に、短い工期で設置でき、下水道と同等の放流水質まで浄化槽の処理機能が向上しており、下水道と並ぶ「恒久施設」として、その役割はますます大きくなっています。

平成26年度末で、千葉県には約53万基の浄化槽が設置されていますが、その内の約31万基(58%)は「し尿」だけを処理する「単独処理浄化槽」です。そのため、し尿以外の生活雑排水は無処理のまま公共水域に流れています。このし尿以外の汚れが、生活から出る汚れの70%を占めており、公共水域の大きな汚染源となっています。また、生活排水とし尿を合わせて処理をする「合併浄化槽」を設置のお宅でも、水環境を守るには適正な使用・維持管理を行うことが重要です。

EC千葉水環境対策センターでは、千葉県水質保全課に協力して、県が行う浄化槽講習会に講師を派遣し、浄化槽の適正管理の啓蒙に取り組んでいます。

<浄化槽講習会の実績>

- (1) 千葉県環境生活部水質保全課主催浄化槽使用者向け啓発講習会(平成23年度からは千葉県水質保全課と千葉県浄化槽団体連絡協議会との共催で実施)
(※「美しい作田川を守る会」が協力、同会員が主な受講者)
 - ・平成27年度(予定)
 - 3会場(白井市、東金市、山武市※)
 - ・平成26年度
 - 3会場(東金市、野田市、山武市※)
 - ・平成25年度
 - 5会場(大多喜町、成田市、多古町、袖ヶ浦市、市川市)
 - ・平成24年度
 - 5会場(一宮市、富津市、南房総市、旭市、山武市)
 - ・平成23年度
 - 5回の浄化槽シンポジウムの中の2回に講師派遣(鎌ヶ谷市、鴨川市)
 - ・平成22年度
 - 10会場(大網白里町、木更津市、市原市、銚子市、館山市、旭市、香取市、山武市、いすみ市、鋸南町)
 - ・平成21年度(千葉県とEC千葉との協働事業)
 - 11会場(船橋市、野田市、香取市、市川市、旭市、山武市、市原市、茂原市、木更津市、いすみ市、南房総市)

開催報告 浄化槽講習会・キッコーマン(株)見学会

平成27年8月4日(火)、午前に浄化槽の勉強をし、午後にキッコーマン(株)の工場見学をしました。

浄化槽の勉強は、野田地域職業訓練センター研修室で、EC千葉の会員と野田市とその周辺地域の環境団体向けの公開講習会(浄化槽使用者向け啓発講習会)の位置づけで実施されました。

講師は水環境対策センター長・上口さん(EC千葉副理事長)が行い、「浄化槽とは」から始まり、「家庭では1日どのくらいの水を使っているか」、「生活排水とは」など一般的な内容から入り、少し専門的な浄化槽の保守点検、清掃及び法定点検の話を、判りやすく講義をしていただきました。

講習会のビデオを制作することと、小生も簡単な実験に駆り出されました。参加者はEC千葉の会員を含め15名でした。

午後、キッコーマン(株)の工場見学をしました。工場見学の後、該社における環境への取組みを環境部長の今井泰彦様に話して頂きました。今井様は「農学博士」で、キッコーマン(株)が廃棄物を削減し環境に配慮した企業経営をどのようにしているかなどを、質疑応答を含め丁寧に説明していただきました。

午後からの参加者が加わり、メンバーは22名でした。当日は非常に暑い日で、見学会終了後工場内売店で販売されている醤油味のソフトクリームがすごくおいしく感じました。
(理事 志澤達司)



- (2) 南房総市市民環境大学講座
平成21年10月・南房総市千倉保健センター
- (3) 一般財団法人千葉県環境保全センター主催講習会
 - ・平成24年(千葉市、親子環境教室)
 - ・平成23年(八街市、保全センター会員向け)
 - ・平成22年(千葉市、保全センター役員向け)
 - ・平成21年(印旛合同庁舎、保全センター会員向け)
 - ・平成20年(印旛合同庁舎、保全センター会員向け)

セミナー開催報告

エコアクション 21 普及セミナー

今年の「エコアクション 21 普及セミナー」を 2015 年 7 月 24 日(金)に千葉商工会議所 14 階第 2 ホールで開催した。

このセミナーは、千葉商工会議所、エコアクション 21 地域事務局千葉県環境財団と NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会(EC千葉)が共催し、エコアクション 21 認証・登録制度が発足した翌年・2005 年から毎年開催し今年で 11 回目になる。

今回は、特別講演を八千代市長秋葉就一様をお願いしたこともあり、自治体職員の参加があり、総計 47 名の参加になった。

冒頭に、環境カウンセラー千葉県協議会見並理事長が主催者挨拶をし、エコアクション 21 は近年頻発する異常気象の原因とされている地球温暖化の防止対策としても有効な省エネルギーなどの取り組みを効果的に進めるシステムであることなどを紹介された。

講演の最初に、秋葉市長が「環境省・自治体向け EA21 普及セミナーパンフレットに紹介されて」というテーマで特別講演され、八千代市におけるエコアクション 21 への取り組みを紹介された。

次に、エコアクション 21 地域事務局千葉県環境財団の服部達雄氏が「エコアクション 21 制度の概要と認証・登録」について説明され、それに続いて、実際にエコアクション 21 に取り組んでいる事業者から事例紹介をしていただいた。

まず、株式会社小見解体の河野公生氏が解現場での解体廃棄物の 100%分別リサイクル化への取り組みおよび事業車のデジタルタコメーター導入による燃費集計事務処理の簡素化について紹介され、続いて、誠和工業株式会社の遠藤信也氏が企業理念に基づいた環境活動、受託産業廃棄物の二次産業廃棄物量の削減について紹介された。最後に、司工業の神田利夫氏が多用途に応じた自動車ボディ製造メーカーとしての環境負荷削減、特に個別受注対応塗料などに含まれる化学物質使用量の把握活動について紹介された。

八千代市は、2009 年 3 月認証・登録で、自治体の中でも EA21 に取り組んだ先立ちであるとともにこれまで職員一丸となって地域の環境保全に取り組んでいることから、このたび環境省の自治体向けパンフレット「エコアクション 21 のすすめ」に掲載された。

事例発表された各社とも、それぞれの事業特性を活かしたエコアクション 21 への取り組みを進め、エコアクション 21 導入の効果・メリットを評価されていることを報告され、大いに参考となるセミナーであった。

講座開催報告

内部監査員養成講座 (IS09001、IS014001)

IS09001 内部監査員養成講座は 2007 年から毎年 2 回、IS014001 内部監査員養成講座は 2005 年から毎年 2 回の開催を継続している。

主催者は千葉商工会議所と当協議会(EC 千葉)で、EC 千葉・EMS 支援センターに所属し、組織内での EMS の維持管理、第三者審査や内部監査員養成に経験豊かなベテランが講師を務めている。

2015 年度の実績と予定は以下のとおりである。

(会場：千葉商工会議所第 2 ホール)

1. 6 月 18・19 日(木・金)：第 18 回 IS09001 講座
受講者 13 人、講師 矢野 和敏氏、志澤 達司氏
2. 7 月 13・14 日(月・火)：第 22 回 IS014001 講座
受講者 23 人、講師 長田 彰氏、橋本 正氏
3. 9 月 17・18 日(木・金)：第 19 回 IS09001 講座
受講者未定、講師 荒野 喆也氏、志澤 達司氏
4. 10 月 8・9 日(木・金)：第 23 回 IS014001 講座
受講者 未定、講師 青木 誠氏、西田 啓作氏

この講座は、定員 24 人の 2 日間コースを基本としており、ISO の取り組みの意義と効果、ISO 規格の内容、内部監査の進め方、内部監査員に求められる資質および力量などの解説に加え、内部監査のワークショップによって実務体験を行うという実践的な講座になっている。

受講者は、主に千葉県内の ISO 認証登録組織に所属している方が中心で、内部監査員候補者ばかりでなく、さらなる力量向上をめざす内部監査員、環境管理責任者、事務局の方などと幅広く、また、繰り返し参加される組織も多い。講座終了後の理解度試験に合格した方には修了証を発行している。

なお、この集合講座の上記の他に、ご希望の事業者様への出張講座も実施しております。ご検討ください。



秋葉八千代市長による特別講演
2015. 7. 24 エコアクション 21 普及セミナー

自然観察会報告

皇居東御苑

皇居東御苑は、戦災で焼けた宮殿復興の皇居造営の一環として、旧江戸城本丸・二の丸を国民に開放すべく、皇居附属庭園として整備され、昭和43年10月に開苑されました。

大都市・東京の真中で21haの大緑地(皇居全体では115ha)で、多様な植物が生育し、野鳥や昆虫も観察できる快適な環境を形成しているところです。

昭和天皇の御発意で造成された武蔵野の面影を復元した雑木林、天皇皇后両陛下の「国民の皆様と伴に分かち合いたい」お気持ちの表れ、果樹古品種園、野生のバラ園、竹林等もあり、自然観察の好適な場であり、江戸城の歴史も学習できました。

講師は、現在も皇居のボランティアガイドをされている環境省OBのEC会員にお願いをしました。幅広い専門知識の上にエピソードを交えたわかりやすい案内・説明をして頂き、天候に恵まれ快適な自然観察会でした。

【参加者の感想】

・緑豊かな皇居は、クールアイランド効果で陽射しの強い好天にも関わらず、心地よく観察会が出来ました。整備された植物名札のお蔭で、楽しさも倍増する中、種から育てられた「リュウキュウカンヒザクラ」は、紅鮮やかに咲き誇る姿に、ご苦労の賜物と敬服いたしました。原寸大の松の廊下は、往事とはかけ離れた自然のやさしさに守られている様でした。

・沢山の珍しい植物を観せて頂き、最後にヒレナガニシキゴイの優雅な揺らぎに送られながらの有意義で楽しい観察会に参加させて頂きまして感謝申し上げます。
・武蔵野の面影豊かな林も、行き届いた手入れがなされ、お心が伝わってまいりました。

終始、講師の方から離れまいと駆け足で付いて行き、日頃気づかない足元の植物へも、目を向けなければと、一層感じた観察会でした。



皇居東御苑・二の丸庭園で渡辺講師の説明

＜皇居東御苑の特徴＞

(自然観察会資料から一部を抜粋)

1. 皇居の一部で「皇居付属庭園」
2. 旧江戸城の史跡
3. 皇居東御苑も含め皇居全体が首都東京の中心にある大緑地としての価値
 - ① 生物多様性の宝庫
森、草原・緑地・水辺と多様な生息環境を備え、生物種が多く、絶滅危惧種も。
 - ② ヒートアイランド現象の緩和効果
4. 天皇皇后両陛下の「共に分かち合いたい」お気持ちの造作
 - ① 昭和天皇
二の丸雑木林(3年を要して昭和60年度完成)都市スプロールで失われた武蔵野の面影を感じる雑木林の再生。
土壌は開発予定地のものを購入し、搬入。草本植物はそのまま再生。昆虫も。特に飛べないナナフシが土とともに運ばれた。
⇒ 森の引越
 - ② 天皇皇后両陛下
植物名札(和名+学名;平成21年・ご結婚50年の記念)
果樹古品種園 野生種・原種のバラ花壇、竹林、新雑木林、秋の七草

平成27年度自然観察会

富士山南麓(9月14・15日開催)



柿田川と富士山

これまでの県外自然観察会

平成18年7月	尾瀬
平成19年4月	筑波山
平成19年9月	上高地
平成20年10月	十和田・八幡平
平成21年9月	拇池高原
平成22年9月	佐渡
平成23年9月	裏磐梯
平成24年7月	蔵王・出羽三山
平成25年7月	尾瀬・駒止湿原
平成26年9月	富士山北麓

5月31日（日）に開催された福島県相双地方の復興再生のためのイベント（南相馬市在住で前 ECU 副理事長長澤利枝さんが実行委員長）に参加した茂木久子さんの報告です。

2011年秋、環境カウンセラーの全国交流会に参加し、南相馬市を訪ねました。20 km圏の小高検問所は奇しくも千葉県警が任に当たっていました。そんなご縁を思い出しつつ、今回の行事に参加しました。

「道の駅南相馬」を会場とする催しは、ほら貝の音に導かれ参加者一同、犠牲となられた皆様への黙祷から始まりました。屋内では15の演目、屋内・屋外会場には24のコーナーが設けられ、それぞれ趣向を凝らし来場者とともに楽しい時間を共有しているのが感じられました。

環境カウンセラー《サントズ会》は、身近な科学実験を川村（愛知）・出口（愛知）・倉田（千葉）・茂木（千葉）で取り組みました。ソース・梅干・胃腸薬・重曹・砂糖・塩・酢・酒・中性洗剤・水など、PH試験紙を用いて、PHを実感するものです。リトマス紙は酸とアルカリの区別のみですが、PH試験紙は酸あるいは塩基の度合いが色の変化に出ます。また、普通のコップとチタンを塗布したコップにメチレンブルー溶液を入れ、太陽光にあて変化を見てもらいました。参加者は、おばあちゃんとお孫さん、お父さんとこどもたち、一家4人など様々で、研修中の海外青年協力隊の若者たちまで加わって大好評でした。

特記は小松獅子保存会による「会津彼岸獅子舞」一

五穀豊穡、災厄除去としての郷土芸能ですが、由来は戊辰戦争にありました。また南相馬市の宝財踊り保存会による「宝財踊り」は、南北朝時代、北畠顕家が権力争いに破れ都落ちする際、変装をして調子よく踊りながら敵の目を欺き、鹿島までたどり着いたところにあります。どちらも初めてふれましたが郷土を大切に敬う人々の心意気が伝わってきました。

帰路は、夕日が新緑の森林を染めて大変美しい中、除染作業が進む飯館村では土をはがされた大地、野積みの除染物などが目に付きました。「川俣道の駅」を下ったところの道路除染の看板には、工事期間28年3月31日と表示がありました。

一日も早く皆様の日常が、あたり前の暮らしが戻ってほしいと願います。

（茂木久子）

なお、このイベントに参加した倉田智子さんは2012年から継続して南相馬市を訪問し、毎年「201X 福島記録」を作成しています。放射線で移動がままならない「震災がれき」が品目ごとに丁寧に分別された現地を見てのレポートに始まった「福島記録」は今年で4通になり、鎌ヶ谷市の環境フェアなどに出展、被災地の現状を伝え続けています。

（PDF版をEC千葉ホームページでご覧いただけます。）



会場内でくつろぐ皆さん



PH試験紙による実験



チタン塗布コップ（左）
光による劣化反応なし



会津彼岸獅子



宝財踊り
扮装した踊りの列



祈りの日 3.11 原点はここ！

開催案内 エコ検定試験受験対策講座

第19回「エコ検定試験」(12月13日(日)実施)の受験者向け対策講座の受講者を募集中です。

東京商工会議所主催「エコ検定試験」(環境社会検定試験)は、「環境」に関する基礎力がアップし、企業での環境対策推進や学生の就職対策に役立つと評価され、毎回全国で10万人以上が受験しています。このエコ検定に必ず合格する、このための受験対策講座をEC千葉が開催します。

eco検定に合格・登録している環境カウンセラー千葉県協議会の講師が懇切・丁寧に指導します。

次の2つの講座を用意しています。

- 1: 個人受験者向けの講座
- 2: 企業内受検対策講座への講師派遣

1. 個人受験者向け講座

開催日 (一日コース)

10月12日(月・祝日)、10月31日(土)

11月15日(日)、11月22日(日)

(この中のご都合の良い日をお選び下さい。)

スケジュール

受付開始: 9時15分

講義: 9時30分~16時30分

終了後に模擬問題を宿題

会場 千葉市民活動支援センター 会議室

千葉市中央区中央2-5-1

千葉中央ツインビル2号館9階

(JR千葉駅から徒歩10分)

教材 特製テキストを配布します。

(エコ検定公式テキスト改訂版5版(2,600円+税)

を購入し、持参して下さい。)

講座内容

エコ検定の仕組みと受検の注意事項

本試験の出題傾向・勉強の仕方と記憶のポイント

重点分野の講義・用語の解説

講座終了後に模擬問題を宿題

(受講者の回答を講師が採点し、返送します。)

受講料(資料代)

4,000円 (学生 3,000円)

(受講日に受付でお支払下さい。)

定員 25名

(先着順、ただし、定員になり次第締め切ります。)

申込方法

EC千葉・エコ検定受験対策講座担当宛に

ファクス、またはメールでお申込みください。

FAX: 043-276-7300

E-Mail: eco-kentei@ecchiba.sakura.ne.jp

2. 企業内受検対策講座への講師派遣

<企業内環境教育に最適>

eco検定合格に向けての勉強は、企業の社会的責任CSR対応や今後の環境ビジネスの展開に向けての従業員の基礎力アップに役立ちます。

ecoピープル(eco検定合格者)となる社員が増えることで、企業のイメージアップにもつながります。エコアクション21やISO14001の認証・取得後の継続的改善のための社員研修とすることで、社員の意識改革や自己啓発に結びつきます。

当講座では、本試験の問題の傾向分析に基づいて、検定試験公式テキストの主要ポイントと過去の出題問題を分かりやすく解説します。さらに、模擬問題によって解答の練習を行い、合格できるよう実戦訓練します。

この講座を受講することで、eco検定に合格する準備をしながら、環境活動を進めるのに必要とする基礎知識を体系的に勉強することができます。

開催日 2015年9月~12月(事業者様ご指定の日時)

コース例 ① 一日コース(9時~17時)

② 半日コース(13時~17時)

会場 事業者様の施設(または、ご指定の場所)

教材 特製テキストを配布します。

(エコ検定公式テキスト改訂版5版(2,600円+税)を購入し、持参して下さい。)

料金(資料代) ① 一日コース: 5万円

② 半日コース: 3万円。

問合せ・申込先

環境カウンセラー千葉県協議会・事務局

TEL & FAX: 043-276-7300

E-Mail: eco-kentei@ecchiba.sakura.ne.jp



ECU便り

(ECU : NPO 環境カウンセラー全国連合会)

6月26日にECU総会が開催され、千葉県協議会から見並理事長と國廣隆紀ECU理事、それにECU理事長表彰を受けた古畑義正・上口清彦の両氏が出席した。

<平成27年度通常総会>

日時：2015年6月26日；13時30分より

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
議案(総会審議事項)：

第一号議案：平成26年度次号報告

第二号議案：第14期決算報告書

第三号議案：平成27年度事業計画

第四号議案：平成27年度収支予算書

全ての議案が事務局原案のとおり可決・承認されたが、下記の点が特記事項である。

① 今年9月頃に、ECUの事務所を現在の荻窪から神田駅付近に移転する予定である。移転先は、アセス社(社長は副理事長の藤本晴男氏)の所有物件で、詳細が決まり次第、臨時総会を開き決議する。

② ECU加入団体の中で、昨年度に秋田県の協議会が会費未納で脱退し、今年には宮城県の協会がNPO組織維持が不可能で任意団体となり会費支払ができないことから脱退した。環境省事務所のある宮城県にECU参加組織が無いので、宮城県に支部を試験的に創る提案があり、可決はされたが、東北地区の会員を中心に反対意見があり、また、ECUの活性化と環境カウンセラー制度見直しとも関連することから、これらの動向を注視していくこととなった。

<理事長表彰式および感謝状贈呈>

総会終了後に2015年度ECU理事長表彰式があり、20名の方が表彰されました。

当EC千葉では、古畑義正さんと上口清彦さんが理事長表彰を受けられました。また、今年の1月に逝去された今泉奉様、6月に逝去されたEC千葉の二宮恵様に対し、ECU理事としてのご活躍に応え理事長より感謝状が贈呈された。

<記念講演会>

「持続可能な社会の原点としての縄文文化の重要性—気候変動への適応への知恵のルーツを求めて—」の演題で、函館市縄文文化交流センター副館長・福田裕二氏の講演があった。北海道・北東北の縄文遺跡群について函館市の縄文文化遺産を中心に講演され、非常に興味深い内容であった。

<懇親会>

ECUが環境大臣賞を受賞した祝賀会として、環境省本庁、環境省関東事務所および日本環境協会の方々も同席して懇親会が開催された。

訃報

故 二宮 恵 様

平成27年6月13日に逝去されました。

生前のご厚誼に感謝し、ご冥福をお祈りします。

なお、ECU理事長から
感謝状が贈られました。



古畑義正顧問と上口清彦理事の両氏が ECU 理事長から環境保全功労者として表彰されました。

古畑さんは2003年に当協議会に入会し、2004年より理事として、事務局次長、事業部長、総務部長、副理事長を歴任されました。2013年よりは顧問として当協議会の発展にご尽力をいただいています。

上口さんは、2004年に当協議会に入会し、2007年より理事として、主として水境対策活動をリードされ、さらに、本年(2015年)からは副理事長として当協議会の運営にもご尽力をいただいています。

古畑さんは下水道、上口さんは浄化槽を専門として活躍をされた経験が豊富で、当協議会の水環境対策センター設立とその後の発展に大きく寄与されています。特に、2010年に浄化槽の適正管理講習会を千葉県に提案し、協働事業としてスタートさせました。それが現在も浄化槽啓発講習会として継続しています。

この活動は、2011年6月に日本水環境学会関東支部「水環境保全活動奨励賞」を受賞しています。

<http://www.minnanoecu.com/>

【参加申込受付中】

第18回企業環境セミナー

<環境マネジメントシステム規格の改正動向 及び 効果的な活用>

開催日時 平成27年10月23日(金) 13:00~17:00

会場 千葉商工会議所 14階第1ホール

参加費 1,000円(当日、受付にてお支払下さい)

第1部 講演

(1)「ISO14001の改正動向と対応」 (2)「ISO9001の改正動向」

第2部 事例紹介(EMS取組成果の事例報告)

(1)ガラスリソーシング株式会社(廃棄物中間処理業)「先人の知恵から学ぶリサイクル事業」

(2)株式会社太陽堂印刷所(印刷業)「印刷産業の環境への取組み」

主催 千葉商工会議所、NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会

問合先 ☆NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会 TEL 043-485-1792(宮田)

☆千葉商工会議所 会員事業課 TEL 043-227-4101(伊藤)

新入会員紹介

今住 則之(いまずみ のりゆき) 袖ヶ浦市

本年1月に入会しました。これまで勤めていた会社を3月に退職し、現在は、引き続き週3日勤務で勤めています。仕事上、REACH規制、ELV指令、RoHS指令等、海外製品環境法規制に関わる各種証明書やGHS対応SDSの発行など環境規制に関わる仕事を行っていることや、私の恩師に当たる方が化学物質による大気汚染から健康を守る活動を行っていることから環境関係には興味を持っています。メンバーの皆様との情報交換を通じて本活動に微力ながら貢献できればと思います。

井町 臣男(いまち たかお) 船橋市

本年3月末ミヨシ油脂㈱を退社、個人会社「イマフジ技販」を4月に開業。地域に密着した環境保全活動を推進したく、EC千葉に入会しました。事業者部門の登録は平成11年4月。排水や煤塵に含まれている有害な重金属類の処理技術普及に注力してきました。今後はEC千葉の皆さんと情報交換を密にして『環境をキーワード』とした地道な活動に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いたします。

秋季研修会の案内

日時:2015年11月14日(土) 10:00~17:00

会場:千葉県教育会館 会議室

千葉市中央区中央4-13-10

TEL:043-227-6141

内容:片山恭男東京管区気象台海洋情報調整官による地球温暖化問題に対する海洋と気象の専門からの講演と質疑応答を通して、「地球温暖化問題の現実・真実」を学ぶ。

総務部からのお知らせ

2014年10月~2015年8月、次の方々から当協議会(EC千葉)へご寄付いただきました。

青木 誠 30,000 有馬 富穂 50,000

上口 清彦 4,500 國廣 隆紀 21,000

久保田 隆 3,000 荒野 喆也 5,000

佐藤 ミヤ子 1,500 鈴木 優子 10,000

田 博秋 10,000 戸村 泰 85,000

二宮 恵 30,000 橋本 正 70,000

濱中 道人 5,000 林 正徳 1,500

福井 信行 5,000 山本 忠 15,000

吉田 昌弘 5,000 吉野 定治 70,000

ありがとうございました。(敬称は省く。)

広報 環境カウンセラーちば 第47号 (発行日 2015年9月1日)

発行:特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会(責任者:広報部長 服部達雄)

事務局:〒262-0019 千葉市花見川区朝日ヶ丘524-7

(Tel & Fax) 043-276-7300 (E-mail) ec_chiba_exec@yahoo.co.jp

(URL) http://ecchiba.sakura.ne.jp/

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会)